

クローバー

回復期リハビリテーション病棟 開設にあたって

院長 滝 沢 隆 雄

この度、当院は回復期リハビリテーション病棟を開設いたしました。場所は東四階病棟で、ベッド数は五四床、八月十一日から実質的な運用を始めました。十一月一日からの本格稼働に向けて職員一同研鑽を重ね努力している毎日です。この病棟がどんな病棟なのか詳しい説明は次項で担当職員に任せることにして、この病棟の目的や地域での役割についてお話しいたします。

わが国は現在、急速な高齢化をたどっています。私たちの北村山地域はこれをさらに上回るスピードで高齢化しています。当院の患者様も高齢の方が増えました。このような患者様の中には病気やけがは良くなっても、体の機能が低下して食事、トイレ、会話など日常生活の問題を抱えたまま退院される方が少なくありません。生活の能力を高めるにはリハビリテーションが大切なのですが、当院の病棟は病気やけがを集中的に治療するためのもので、それ以降も入院していただくには制度上の限界があります。

回復期リハビリテーション病棟は、これまでの病棟と異なり、病気やけがの集中的な治療が終わる時期に入っていたく病棟です。リハビリテーションに専念していただくことで、寝たきりの防止や家庭復帰、

社会復帰を促し、地域に貢献したいと考えています。

この病棟には専従の医師がいます。その仕事に知識鉄郎参与があたります。また、リハビリテーション科の責任者として鈴木 医長がバックアップいたします。それぞれ脳と脊の専門家ですから、互いに協力し合ってすばらしい病棟にしてくれるものと期待しています。

しかしながら、当院職員の努力だけでこの病棟本来の役割を発揮することは出来ません。特に、退院後の患者様の不安を少しでも減らすために、地域の他施設との連携は不可欠です。開業の先生方、介護や福祉に関わる方々のご協力があつて初めて成り立つ事業です。このような意味からも、関係各位のご理解、ご協力をお願いし病棟開設にあたってのご挨拶といたします。

追記 病棟開設にあたり三友堂リハビリセンター、篠田総合病院、みゆき会病院よりご指導、ご支援を頂きました。また、訪問看護ステーションむらやま、白水荘、ふもとの各施設より職員研修にご協力いただきました。この場をお借りしてお礼申し上げます。



北村山公立病院の 理念

○理念

地域の信頼にこたえるため、患者様中心のよりよい医療の提供に努めます。

○基本方針

- 一 患者様中心の医療
人間性を尊重し、信頼関係を基本とした満足度の高い医療をめざします。
- 二 医療の質の向上
地域の基幹病院として、地域の医療機関と連携を図り、医療の安全性と医療水準の向上に積極的に取り組みます。
- 三 経営参加への意欲
職員は業務に意欲的に取り組み、病院機能の一層の充実と健全な経営の確保に努めます。

回復期リハビリテーション病棟

開設にあたって

リハビリテーション科 医師 鈴木 康之

回復期リハビリテーションは聞きなれない名前の病棟だと思いますので、どのような病棟なのか簡単に説明します。

1) 回復期リハビリテーション病棟ってなに？

皆さんが脳卒中や骨折などで入院したときには、手術や点滴などの治療を受けることとなります。しかし治療がうまくいっても、手足が思うように動かなかつたり、うまく言葉がしゃべれない症状が残ることが多く、また高齢者の骨折の場合は骨がうまくついても、筋肉の力が弱くなり、すぐには歩けないことがあります。このように病気やケガが治っても、すぐには以前の生活にもどれず、また自宅に戻るには、生活しやすいように家を改造しなくてはならないこともあります。

そこで、より良い状態で退院してもらうために、病棟の中でリハビリを行い自宅退院に向けて準備をする病棟を設けました。これが回復期リハビリテーション病棟です。一般病棟よりベッドとベッドの間を広くし、浴室、トイレ、洗面所は患者さんに適した設置にしています。

2) どのような患者さんが入院できるの？

麻痺が残ったり、体力が戻らない患者さんのすべてが入院できるわけではありません。病気や怪我の種類、発症した時期により入院できるかどうかが決まります。発症してから九十日以内で、主に脳卒中、太ももや骨盤の骨折の患者さんが対象になります。当院に入院中の患者さんは、主治医から転棟についての説明があります。

詳しくは医療福祉相談室や医師にお尋ね下さい。

3) どれぐらいの期間入院できるの？

病棟専従の医師、看護師、リハビリスタッフ、相談員が、ひとりひとりの患者さんの病状や家庭の状態などを確認し、患者さんにあった目標と予定をたて、リハビリの進行具合を見ながら退院時期を決めます。だいたい二〜三カ月です。

4) ほかの病院からも入院できるの？

出来ます。入院なさっている医療機関より情報提供用紙を出しているだけで、最終的には当院の担当医師が判定します。入院の条件に適していれば他院からでも入院できます。

5) 何人ぐらい入院できるの？

東四階病棟五十四床が、回復期リハビリテーション病棟になりました。最大五十四人が入院できます。

患者様の人生作りのために

病棟師長 名和 陽子

東四階病棟が「回復期リハビリ病棟」としてスタートして一ヶ月が過ぎました。私たちは患者様がお困りにならないように、起床から朝食までと、夕食からお休みになるまでは、看護師が二人、リハビリスタッフが四人、看護助手が二人の八名でお世話をしています。食事も大切なりハピリ」と考え、病室ではなくデイルームで食事をしていただいています。十時から行なっている集団レクリエーションでは少しでも楽しく訓練していただけるよう工夫し、良い雰囲気なかで、得意な趣味を披露するなど、積極的に参加してもらっています。転棟時には車椅子だった患者様が、ご自分の足で歩かれたり、おいしそうに食事をとられたり、という姿を拝見しますと、私たち職員が患者様からパワーをいただいている気持ちになります。

まだ始まったばかりの病棟です。私たちスタッフは患者様を身内と思いい看護、介護にあたっています。一人一人の患者様の今後の人生作りに、お役に立てるよう、スタッフ全員が勉強しながら患者様とともにがんばっています。

退院後の生活を

想定しながら

機能回復訓練室 技師長 高橋 穂

回復期リハビリテーション病棟における職員の共同作業について説明します。まず当病棟に移る前に、医師、看護師、理学療法士、作業療法士、社会福祉士が集まり受け入れ会議が行われます。一週間後に一回目の評価会議が開かれ、総合実施計画書が作成されます。三週間には家族を含めた調整会議が行われ目標の説明、今後の方針、治療内容について話し合います。その後に二回目の評価会議が開かれ、計画書を見直しします。私たち職員は、患者様のご家族と同じ思いで入院生活の援助が出来るよう、いつも話し合い、患者様の能力の向上を目指しています。当病棟では実際の生活場面を想定しながら治療を進めています。例えば洗面所は洗面所で、食事はデイルームでというようにです。余暇時間も積極的に利用し、ゲームや創作活動をしています。その結果ベッドに横になっている時間が激減し、活動性が高まりました。今後ますます工夫を凝らし、よりよいし成果が得られるように職員一同協力し頑張っていきたいと思います。

診察室 5

痔のお話し

外科 小川 芳雄



(1)痔核、(2)痔瘻、(3)裂肛と、大まかに三種類の肛門疾患(病気)に分けることができま

す。痔核とは、肛門周囲の血液のうっ帯が原因で、肛門の内部、及び外部に血腫(血のかたまり)、血栓(固くかたまつた血腫)ができ、排便時出血、肛門の外への脱出、肛門痛等の症状が見られます。痔核は日本人の約六十%(六割)が持っていると言われ、人間が直立歩行をする様になり、血液が下半身により集中する様になってから、発生したとも言われています。でも、こんな所は恥ずかしいから、医者へは行けないとか、出血するから癌ではないか、などと、人に相談もできずに一人で悩んでいる方は多いと思われま

す。しかし周囲の人の半分以上は同じ病気で悩んでいるわけですから、思い切って医者に相談してみして下さい。痔核は、肝臓病(肝硬変)、肥満、分婉等、他の病気に合併することも多く、放置すると、より治りにくくなるということも覚えておいて下さい。軽い痔核は飲み薬と、坐薬(肛門より挿入する薬)で、症状も軽減しますが、手術を要する様なものでも、十日〜二週間位の入院で治癒しますので、早目に専門の医者に相談することが大切です。

痔瘻とは、肛門に近い陰窩という粘膜のへこんだ部分が、炎症を起こし、細菌が感染し、痔孔(トンネル)を形成し、おしりの皮膚までトンネルが交通してしまったものを言います。おしりの周囲の膿瘍(膿のかたまり)を作ったり、進行すると、おしりの筋肉の奥深くまで、膿のかたまりを形成したり、熱が出たり大変やっかいな病気です。他の重い病気(自己免疫疾患等)に合併することも多く、何年も放置すると、癌になるという話しもあります。早目に診察を受けることが必要です。肛門周囲の皮膚から、膿が出たり、一度治った様に見えても、何度も再発することが多く、下着に膿が付着する時は痔瘻の可能性を考えて下さい。

裂肛は、肛門の粘膜が弱い場合、あるいは、便秘気味で、便が固い場合などの時に、排便時に肛門粘膜が裂け、便に赤い血が付いたり、排便の後もしばらく痛みが続きます。長期間裂肛が続くと(慢性化)潰瘍(深い粘膜損傷)となったり、肛門ポリープを形成したりします。初期の裂孔の場合は、手術の必要もなく、便の性状を整える薬や、坐薬で治ります。やはり早目に医者に相談して下さい。

日頃、痔が原因で、精神的にも、肉体的にもすぐれず、一人悩んでいる方が多いと思われま

すが、現在、治療法、手術法も変化進歩し、病状に適した加療が可能となっております。これらの症状に気づいたら、当院の外科に相談することをお勧めします。

報告します 患者満足度アンケート

本年三月に実施したアンケートの結果をお知らせします。男女ほぼ同数の合計一〇七名の方々より回答をいただきました。ありがとうございます。

▼待ち時間について

受付を済ませてから診察を受けるまでの時間を図1のとおりに、実際に診察を受けるまでの時間は図2のとおりに、予約の方が待ち時間は短くなりますが、それでも一時間以上待たされた方は少なくありません。「何のための予約か」という厳しい指

摘も頂きました。

▼医師の説明について

医師の説明に対する満足度では図3の結果を得ました。男性と女性では満足度に大きな開きがあり、女性の方が医師の説明を不十分と考えています。

▼職員の対応について

患者様と最も長く接する看護師についての満足度も高くなりました。図4 ここでも男性の満足度が高く、女性が厳しい評価をし

ています。この傾向は他の職種に対しても同様です。また、図示していませんが年齢別の分析では、五十歳代の方が各項目で最も厳しい評価をしています。

紙面の都合で一部のみ報告しましたが、今回、お知らせできなかった項目も含め、結果を真剣に受け止めた原因を調査しながら今後の病院づくりに役立てます。また、同様の調査を続けますので、ご協力をお願いいたします。

図1 待ち時間



図2 待ち時間(予約)

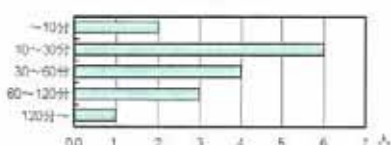


図3 医師の説明は十分か

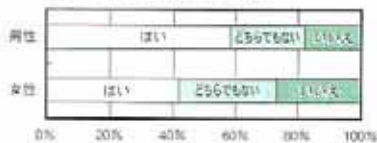


図4 職員の対応は親切か(看護師)



知ってる？ 床ずれについての役に立つお話

その① 床ずれって？

昨年から全国の医療機関で、床ずれに対する積極的な取り組みが行われるようになりました。当院でも対策チームを編成し床ずれ予防と治療に取り組んでいます。その中で、当院に入院される患者様の中には、知らないうちにすでに床ずれが出来てしまっている方がいることに気づきました。そこで、ご家庭における床ずれ対策がとても大切と思い、今回から数回に分けてお話ししてみたいと思います。

まず初めに床ずれとは？です。専門的には褥瘡（じよくそう）と言います。褥瘡は、持続的に皮膚に加わる圧力が局所の虚血性循環障害を起こした結果生じる皮膚の壊死性変化。なにやら難しい言葉ですが、簡単に言いますと、皮膚がただれていたんでしまい、その下にある組織（皮下組織や筋肉や骨）が露出してきてしまうことです。

長時間同じ部位を圧迫すると、その皮膚の部分は赤くなりますよね。同じように長い間寝ていると、皮膚の薄い部分や骨の出っ張っている部

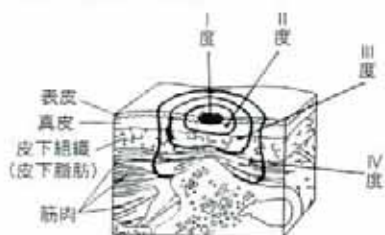
分は血流が悪くなります。そこに皮膚がすれて傷ついたり、皮下に力が加わり皮下の組織が傷ついたり、またオシッコや汗で濡れていたりすると皮膚の抵抗力が弱くなり、ますます褥瘡が出来やすい状態になります。栄養状態が悪いことも一因です。図

①は褥瘡の出来やすい場所を示しています（▲の部分）。この場所は患者様の身体の位置によつて違つてきますが、どこも皮下組織の少ない部位です。ご自分の皮膚をつまんで確かめてみて下さい。図②は褥瘡の程度の分類を示していますが、I〜II度の浅いものでは適切な処置を行えば早く回復します。しかしIII〜IV度と深くなると回復までに数ヶ月から半年以上かかる場合も多



図①

図② 褥瘡の分類



く、患者様の苦痛やご家族の負担もおおきなものになってしまいます。このように一度出来てしまうとなかなか治るのに時間がかかってしまう褥瘡は、出来ないように予防することが一番大切です。そこで今回は予防についてのポイントをお話ししましょう。

形成外科外来看護師 菅野 淳子

お知ろせ ドックの ご案内

平成十一年に厚生労働省は、成人病を中心とした複数の疾病に対して、新たに「生活習慣病」という総称を使う事を決めました。読んで字のごとく日頃の悪い「生活習慣」が引き起こす「病」のこと。ドキリとさせられるネーミングですね。この生活習慣病の中でも「がん」「心臓病」「脳卒中」が日本人の死亡原因の六

〇%以上を占め、三大生活習慣病と言われています。このような病気を早期発見するために、定期的な健康チェックをおすすめします。当院では、日帰りドック、脳ドック、一泊人間ドックを用意しております。お気軽にお問い合わせ下さい。

(四二二二二二二 内線一〇七)

◎一般健診・日帰り人間ドック

定期的な健康チェックに最適な日帰りコースのドックです。内容により、一般健診と節日ドックとしておすすめの日帰りドックコースがあります。

※曜日：火・水・木（祝日除く）

※時間：午前八時〜一一時頃

※料金：一般健診

一〇、八六〇円（税込）

日帰りドック

三〇、三九〇円（税込）

他に乳がん・子宮がん・前立腺癌検査のオプションもあります。

◎脳ドック（半日コース）

脳卒中の予防に役立つとともに、症状の出にくい脳腫瘍や脳血管障害と強い関わりのある老人性痴呆など脳の病気の早期発見のためのドックです。

※曜日：毎週火曜日（祝日除く）

※時間：午前一〇時〜一二時半頃

※料金：三五、〇〇〇円（税込）

◎一泊人間ドック

さらに詳しい検査をご希望される方に一泊コースがあります。脳ドックも追加できます。

※曜日：火・水・木・金

※料金：男性八四、〇〇〇円（税込）

女性八七、一五〇円（税込）

脳ドック追加の場合は

二一、〇〇〇円追加

いきいき 4 職場紹介 薬剤科



「セルフメディケーション」最近よく聞かれる言葉です。自分自身で健康を管理し病気などの予防に心がけようということだと思えます。しかし、病気になってしまったら、薬の力も必要です。薬は食事といっしょで身体の内に入って効き目を発揮します。他の薬との飲みあわせ(相互作用)、飲み方、使い方、本来の目的以外の作用(副作用)、薬によっては注意を要する食べ物・飲み物などについて情報を提供し薬を正しく使っていたことが私達薬剤師の仕事であり、思いです。薬剤科には十四名の薬剤師と一人の助手がおり、調剤・薬品管理・製剤・医薬品情報・薬剤管理指導(病棟業務)などを行っております。

外来だけでなく入院中も病棟に専属の薬剤師がおります。いつでも御相談下さい。「顔をみたら、話をしたら、すこし気分が軽くなった。」そんな薬剤科を目指しています。

薬剤科長 大崎 節子

ナース室より



西三階(脳外科・耳鼻科・眼科)原田 淳子
ピッピッピッ。静まりかえった深夜のナース室に規則的なモニター音。突然アラーム音が鳴る。一瞬ドキッとし、次に「誰の?」と音源をさがす。心拍・呼吸・血圧・点滴その他機種によって音が違う。原因をすばやく確認し痰を吸引したり、点滴追加やドクター指示の薬剤を開始して再び静かになった。なのに耳の奥でアラーム音がピッピッ。同僚に聞くと、「大丈夫、鳴ってませんよ。」ホッとしたり、年のせいで幻聴なのかとがっくりしたり…。

夜中三時の巡視。観察や体位交換を終え、昨日トイレと病室をまちがえたおばあちゃんも、夜中に活動するおじいちゃんもぐっすり眠っている。手術後の患者様も落ちついてるので朝の巡視の準備をする。

そして深夜勤務唯一の楽しみ。夜明けの時間がくる。一度だけ空一面の朝焼けを見た時は感激して、単純に夜勤で良かったと思つたものだ。多くの方の生死に接し、その分だけの人をかい間見る。窓を開けるとさわやかな空気。「〇〇さん、おはよう! 今日の日が始まるよ。」

新任医師紹介

- ①着任日②趣味等
- ③抱負・自由発言

外科
平方 敦史

- ①七月一日
- ②テニス
- ③山形に骨をうずめる気ですががんばります。

外科
寺田 淑恵

- ①七月一日
- ②特になし
- ③がんばります。

形成外科
伊吾田 慎一

- ①七月一日
- ②特になし
- ③まず、院内及び地域に於ける床ずれ対策を軌道に乗せることが、第一の目標です。

耳鼻いんこう科
中村 毅

- ①七月一日
- ②ドライブ・スポーツ一般
- ③気がねなくご相談下さい。一緒に治しましょう。

内科
小川 紅

- ①八月一日
- ②スキー・演劇鑑賞
- ③山形は楽しいところです。仕事も遊びも全開でやろうと思えます。よろしくお願いします。

内科
牛島 明子

- ①九月一日
- ②ピアノ・テニス
- ③よろしくお願ひします。

整形外科
田中 陽子

- ①十月一日
- ②旅行
- ③十月より赴任しました。よろしくお願ひします。

医療福祉相談室 移転のお知らせ

8月18日、医事課内より、玄関入って右に相談室を移転しました。また、ファックス専用回線も新設しました。
※お詫びと訂正
前号にてお知らせした電話番号にあやまりがありました。お詫びして訂正します。
TEL (43)7001・FAX (43)7075

外来診療科医師日程表

◆内 科

| 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|------|------|------|------|------|
| 金村應文 | 牛島明子 | 金村應文 | 吉川雅智 | 佐伯和則 |
| 小川 紅 | 吉川雅智 | 佐伯和則 | 牛島明子 | 小川 紅 |
| 吉川雅智 | 佐伯和則 | 小川 紅 | 金村應文 | 牛島明子 |

* 下段は新患外来の担当医師

* 毎月最終診療日 午後2時より禁煙外来（予約制）

◆神経内科

| 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|---------|------|------|------|------|
| 新井裕至 | 新井裕至 | 新井裕至 | 新井裕至 | 新井裕至 |
| 小島または熊谷 | 熊谷智昭 | 小島康正 | 熊谷智昭 | 小島康正 |

◆消化器科

| 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|------|------|------|------|------|
| 福岡 猛 | 沖野哲也 | 福岡 猛 | 沖野哲也 | 滝沢隆雄 |
| | | | | 福岡 猛 |

◆小児科

| 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|-------|-------|-------|-------|-------|
| 鹿子島俊夫 | 鹿子島俊夫 | 鹿子島俊夫 | 鹿子島俊夫 | 鹿子島俊夫 |

◆外 科

| 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|------|------|------|------|------|
| 小川芳雄 | 木内博之 | 小川芳雄 | 木内博之 | 小川芳雄 |
| 平方敦史 | 平方敦史 | 高橋由至 | 寺田淑恵 | 高橋由至 |
| 杉浦 篤 | 杉浦 篤 | 寺田淑恵 | 杉浦 篤 | 平方敦史 |

◆整形外科

| 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|------|------|------|------|------|
| 上坂眞司 | 村重良一 | 上坂眞司 | 村重良一 | 上坂眞司 |
| 田中陽子 | 田中陽子 | 村重良一 | 田中陽子 | 田中陽子 |

◆形成外科

| 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|-------|-------|-------|-------|-------|
| 伊吾田慎一 | 伊吾田慎一 | 伊吾田慎一 | 伊吾田慎一 | 伊吾田慎一 |

◆皮膚科

| 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|------|------|------|------|------|
| 秋田政彦 | 秋田政彦 | 秋田政彦 | 秋田政彦 | 秋田政彦 |

* 外来の受付時間は午前8時30分～午前11時30分まで、診察は9時開始です。土・日・祝日・年末年始は休診です。ただし、急患は随時受付・診察を行います。
* 都合により、担当医師の変更や休診になる場合があります。

◆脳神経外科

| 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|-------|-------|------------|-------|------|
| 鎌塚栄一郎 | 鎌塚栄一郎 | 國本健太 | 鎌塚栄一郎 | 國本健太 |
| | | 午後 國本健太 | | |

* 水曜日は午後2時30分より頭痛・顔面痙攣外来（予約制）

◆泌尿器科

| 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|------|------|------|------|------|
| 清水宏之 | 清水宏之 | 根本 勺 | 清水宏之 | 根本 勺 |

◆産婦人科

| 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|------|------|------|------|------|
| 大塚 茂 | 大塚 茂 | 大塚 茂 | 大塚 茂 | 大塚 茂 |

◆眼 科

| 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|------|------|------|------|------|
| 鈴木輝彦 | 鈴木輝彦 | 鈴木輝彦 | 鈴木輝彦 | 鈴木輝彦 |

◆耳鼻いんこう科

| 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|------|------|------|------|-------------|
| 粉川隆行 | 粉川隆行 | 粉川隆行 | 粉川隆行 | 粉川隆行 |
| 中村 毅 | 中村 毅 | 中村 毅 | 中村 毅 | 中村 毅 |
| | | | | 午後 粉川・中村 |

* 金曜日のみ午後外来診察（午後2時30分～3時30分受付）

◆リハビリテーション科

| 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|------|------|------|------|------|
| 鈴木康之 | 知識鉄郎 | 鈴木康之 | 鈴木康之 | 鈴木康之 |

◆麻 酔 科

| 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|------|------|------|------|------|
| 篁 武郎 | 篁 武郎 | 篁 武郎 | 篁 武郎 | 篁 武郎 |
| 四維東州 | 四維東州 | 四維東州 | 四維東州 | 四維東州 |

◆放射線科

| 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|------|------|------|------|------|
| 安藤 順 | 安藤 順 | 安藤 順 | 安藤 順 | 安藤 順 |

編集後記

- いよいよ、回復期病棟のスタートとなりました。待ちに待った病棟であり、スタッフ一同、患者様にとっても病院にとっても、良いものとなるよう頑張っていきたいと思っています。
- 秋の風とともに『いも煮』のおいしい季節となりました。友人と家族と『いも煮』を囲みながら、語りあってみてはいかがでしょうか？
くれぐれも、食べ過ぎにはご注意を……

- 一日のなかにゆっくり、のんびりとした時間も必要ですね。秋の夜長に、読書でも。 (朋 子)

◆救急外来の診療体制◆

急な病氣やけがの患者様にそなえ、当院では夜間や休日にも当直医師1名、看護師3名が常時診療にあたっています。当直医師が診察して、より専門性が高いと判断した場合は、待機している各科の医師に連絡し、患者様を診察します。